

令和元年度

第1回佐久市国民健康保険運営協議会議事録

日 時 令和元年8月26日（月） 午後1時30分～午後2時15分

会 場 佐久市役所 議会棟 全員協議会室

出席委員 18名

公益を代表する委員 6名
保険医等を代表する委員 4名
被保険者を代表する委員 6名
被用者保険等の保険者を代表する委員 2名

欠席委員 2名

事務局 9名

- 1 開 会
- 2 委嘱書交付
- 3 あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 市関係職員自己紹介
- 6 会長及び職務代行者の選出
会長 白鳥 昭夫委員、職務代行者 小林 省三委員
- 7 会長及び職務代行者あいさつ
- 8 議事録署名委員の指名（2名）
岡田 稔委員、篠原 美知子委員

9 報告事項
(事務局)

○佐久市国民健康保険運営協議会会議資料に基づき説明

- ・資料にはないが、令和2年8月より70歳から74歳までの方に発行している高齢受給者証と国民健康保険証が一体となる。
- ・現在70歳から74歳までの方は、受診の際に高齢受給者証と国民健康保険証の2つを持参しなければ受診が出来なかったが、来年の8月からは高齢受給者証に記載のある負担割合が保険証に記載をされることで、保険証1枚で受診が出来ることになる。
- ・今年度一斉更新で送付する保険証の有効期限の多くが令和元年10月1日から令和2年7月31日までとなっている。

○質疑

(委員)

- ・基金積立金が平成29年度と比べて2億円程減となっており、理由は先程聞いたが、今年度と同じような状況となるのか。

(事務局)

- ・平成29年度は、前期高齢者交付金の精算金が2年遅れで4億円程入ったため、平成29年度、30年度を比較すると差が大きいが、今後は精算が無くなるので、これ程差が出ることはないと考えている。

(委員)

- ・今後の積立金は、平成30年度の積立金の2億円程度と同額程度になり、それ以上増えることはないのか。

(事務局)

- ・2億円以上になることはないと考えている。
- ・基金積立金については、国保の場合全くの精算という形になりづらいが、いわゆる歳入と歳出で歳入が余った場合に積立させていただく性質がある。
- ・幸いなことに平成30年度決算については、黒字決算となったため、基金への積み増しが出来た。歳入歳出のバランスが合わないと、基金からの繰入が必要となってくる。
- ・現在佐久市は基金の残高では、県下19市の中でかなり上位の残高の約12億円であり、今年度は約15億円程度となる予定で、比較的健全経営となっている。
- ・逆に言えば、基金があまり多くなると、国保税の税率をもう少し下げるといった議論も出てくる。先程まで説明したとおり、平成30年度から初めて県が保険者となったところであり、県の方で保険料水準の統一化を図る動きもあるため、そのような状況を見ながら対応していく。そういう意味では、佐久市は比較的税率を上げるという方向に動かなくても、基金をもって調整が可能なのではないかと現状では考えている。

10 その他

(事務局)

- ・議事録署名については、事務局にて議事録を作成し、作成したものをすべての委員の皆さんにお送りし、確認いただき、特に修正がないということであれば、今回の議事録署名委員の委員さんに署名いただくようになるのでお願いしたい。
- ・長野県と国民健康保険団体連合会との共催で国民健康保険運営協議会委員等研修会が秋に開かれる。本年は、令和元年10月30日（水）午後1時から、安曇野市で開催となっている。当日は市の公用車に乗っていただくことになっている。事前に参加人数は市から報告することとなっているため、お手数ですが出欠の報告を手元にある返信用封筒に入れ、9月18日まで返送いただくようお願いしたい。

11 閉会

議事録署名委員

議事録抄本には議事録署名委員の署名・押印をいただいております。